

# 忍者市を知る

## NINJA 忍者市宣言

### — 平楽寺跡 —

忍者市宣言 1周年を記念して、今月号から隔月で忍者ゆかりの地や出来事、人物などをコラム形式でお届けします。

皆さんは、たくさんの人が訪れる上野公園の一角に五輪塔や石仏が静かに佇んでいるのをご存じですか。筒井定次が伊賀の国に入る以前、この場所には「平楽寺」と「薬師寺」という2つの寺院があったと言われています。平清盛が建立したとの言い伝えも残る平楽寺は、戦国時代には伊賀衆の軍議が行われる場所となっていたそうです。この伊賀衆の中には、後の世で忍者と言われる、特殊な技術を持つ人もいたようです。

その時代、伊賀には大名がおらず、多くの土豪が互いに競い合っただ立っていました。一方で、近隣諸国からの外敵に対しては、伊賀惣国一揆と呼ばれる土豪たちによる自治体制により、一味同心して外敵から伊賀の国を守りました。織田信長軍の伊賀攻めなどの際には、伊賀衆は平楽寺や無量寿福寺（下

▶上野公園内にある五輪塔



神戸)、大光寺（寺田）などに集まって合議で物事を決めたそうです。

このように、普段何気なく通り過ぎていた場所にも忍者の気配を感じることができ、改めて伊賀の歴史の深さや忍者の文化を知ることができます。

こういった忍者ゆかりの神社や仏閣を訪ねてご朱印をいただく『伊賀忍者回廊 伊賀忍者ゆかりの神社仏閣ご朱印めぐり』が（一社）伊賀上野観光協会で行われています。ご朱印めぐりをきっかけに神社や仏閣を訪ねると、見事な松の木や季節の花に出合ったり、文化財を見ることができたりと、新たな発見があるかもしれません。

ぜひ、皆さんも忍者ゆかりの地を訪ねてみてくださいね。



▲ご朱印帳と伊賀忍者回廊パンフレット

【問い合わせ】 観光戦略課  
☎ 22-9670 FAX 22-9695

## 伊賀市の文化財

県指定文化財（史跡）

### 靈山山頂遺跡（下柘植）

靈山山頂遺跡は、伊賀だけでなく伊勢や近江も一望できる標高765.8mの山の上であり、奥の院・郭（\*1）土塁などで区画された区域）群・中世墓群の3種類の遺構群から構成されています。

奥の院は周囲を土塁で囲まれた、南北約25m、東西約20mの不整形の平坦地です。明治時代につくられた石室の中には、延宝3（1675）年と刻まれた青銅製の聖観音立像が祀られています。像の台座には、宝塔の石が転用されていて、その1つには「\*2 永仁3年5月10日」と刻まれており、遅くとも13世紀末には、すでにここに宝塔が建立されていたと考えられます。

山頂から南斜面に広がる郭群では、建物の跡や加熱の痕跡のある石組みが発見されています。

南方向の尾根上にある中世墓群は、山頂から40mほど低い場所にあります。五輪塔が散在していて、骨壺などの破片も見られます。

標高700mを超える山頂近くの高所の遺跡であり、日常生活や生産活動の場としてふさわしいとは言えません。また、軍事を主な目的としていない場所が、中世を通して栄え



▲靈山山頂遺跡

### ▼靈山山頂からの眺望



ていたことから、この史跡は山岳仏教の一大寺院跡と考えられています。平成28（2016）年4月28日には、日本遺産「忍びの里伊賀・甲賀」リアル忍者を求めて―が認定されました。忍術は修験道から始まり、孫子の兵法に武術の理論を加え完成した山伏兵法が基ともされます。もしかすると、この靈山山頂で修行した人々の中から、忍者と呼ばれる存在が輩出されたのかもしれませんが。

\*1 土を盛り上げたり、地山を凸状に削り出したりして築かれた堤防状の施設

\*2 1295年

☎ 文化財課  
47・1285

FAX 47・1290